

# 令和3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状	事務事業名		No.	232	産業フェスタみよし実行委員会補助事業						
	この事務事業 の位置	政策	魅力と活力があふれるまち								
		施策	地域の農業を守り、次代につなげよう								
		基本事業	地産地消								
	主管課名	産業課			課長名	光岡 公利					
この事務事業の開始時期	昭和50年代			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		産業フェスタみよし実行委員会規約								
P L A N 及 び D O	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	・市民に対する市内産業の周知事業の一環として、農工商業者が一堂に会し地場産物の販売やイベントを実施する。併せて、広く市民に友好提携市町の産業を知っていただく機会として、提携市町の物産展を開催する。その実施主体である実行委員会に対し、開催経費を補助する。  「SDGsの取り組み：2, 9, 12, 17」				（現在の状況） ・令和元年度参加団体：113団体 ・令和元年度来場者数：約39,000人 ・令和2年度 中止 （事業の必要性） ・市民に市内産業及び提携市町の産業を知っていただく機会として必要である。						
R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		6月に産業フェスタみよし実行委員会総会を书面開催。7月に役員会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策をして、開催するかどうかを話し合いをした。8月に開催中止の书面決議。11月の産業フェスタみよしを中止した。北海道士別市産業フェアも中止となった。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	内容自体は大きく変わっていないが、ステージイベントや商工会の職業体験コーナー等、時代に合わせて変化させている。				名称		単位				
					① 産業フェスタみよしの開催数	回	②				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
市民 参加団体					名称		単位				
					① 人口	人	② 参加団体数	団体			
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
多くの市民に会場してもらい、地場産物のPRを通して地産地消を推進する。その為により多くの団体の参加を促す。					名称		単位				
					① 来場者数/人口	%	② 愛知県産品出店数	団体			
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
安全な地元農産物の地域内消費を増やす。					名称		単位				
					① 愛知県産品目数/全品目数	%	②				
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 回	1	1	0	1	1	1	1			
	②										
(2)の 対象指標	① 人	61,040	61,570	61,236	62,100	62,360	62,620	62,880			
	② 団体	113	120	0	115	115	115	115			
(3)の 成果指標	① %	63.8	65	0	64	64	64	64			
	② 団体	42	48	0	46	46	46	46			
(4)の結果の 成果指標	① %	37.1	40	0	40	40	40	40			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	06	項	01	目	01
コスト	年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	7,999	11,000	0	9,000	9,000	9,000	9,000			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	7,999	11,000	0	9,000	9,000	9,000	9,000		
人件費B	千円	3,851.2	3,851.2	199.2	4,511.9	4,511.9	4,511.9	4,511.9			
正職員従事時間×人数	時間×人	290×4	290×4	60×1	453×3	453×3	453×3	453×3			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	213	213	0	213	213	213	213			
トータルコストA+B+C	千円	12,063.2	15,064.2	199.2	13,724.9	13,724.9	13,724.9	13,724.9			
単位あたりコスト	① 千円/人	0.2	0.2	0	0.2	0.2	0.2	0.2			
	(トータルコスト/(2)の対象指標) ② 千円/団体	106.8	125.5	0	119.3	119.3	119.3	119.3			

事務事業名	No.	232	産業フェスタみよし実行委員会補助事業
-------	-----	-----	--------------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	市内産業の周知する機会として、農工商業者が一堂に会する産業フェスタの意義は大きい。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	職業体験コーナーのように子供向け、ファミリー層の集客に繋がるイベント等を時代に合わせて催すことが必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的は、市内産業の周知・PR及び産業の発展で変わらない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	より地場産品を扱う出店者を増やす。	
	目的達成状況	内容	開催中止となった。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 産業フェスタみよし実行委員会補助金	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	ふれあいフェスタとの統合が考えられる。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容	会場設営の業務委託範囲を拡げれば、委託費は上昇するものの、職員の人件費削減に通じる。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	入場料等を徴収できるような事業ではない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	・ 来場者の安全対策と会場近隣の路上駐車対策。 ・ イベント会場の整備。	対応策	・ 来場者への安全対策の強化。 ・ ふれあい広場の整備及び維持管理。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	産業フェスタみよしの地場産品の販売、土別市産業フェアへの参加。	変更追加	新型コロナウイルス感染症対策をして、開催する予定
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・ 来場者数を増加させる方策の検討。 ・ イベント会場（ふれあい広場）の雨天時対応及び維持管理。 ・ 新型コロナウイルス感染症対策			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	<b>事務事業名</b>		No.	233	食育推進事業							
	<b>この事務事業の位置</b>		政策		魅力と活力があふれるまち							
			施策		地域の農業を守り、次代につなげよう							
			基本事業		地産地消							
	<b>主管課名</b>		産業課		<b>課長名</b>	廣瀬 敏文						
	<b>この事務事業の開始時期</b>			平成19年		<b>事務区分</b>	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	<b>この事務事業の根拠法令</b>			食育基本法								
	<b>事業の概要</b>					<b>現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由</b>						
	食育推進計画に基づき市民一人ひとりが食の大切さを見直し、健康で心豊かな生活が送れるよう事業を推進する。 また、平成30年度に策定した第3次食育推進計画に基づき、各種事業の中間評価と進行管理を行った。 「SDGsの取り組み：2、4、12」					食育とは、生きる上での基本であって、「知育」、「体育」、「徳育」の基礎となるべきものとされているが、昨今の子どもの多くに偏食、朝食の欠食などが顕著に見られるようになり、「食育」の重要性が叫ばれるようになり、本市においても、食育推進会議を設置し、国や県の計画を基本とした食育推進計画を平成20年度に策定し、5年毎に見直しを行っている。						
	<b>R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等</b>			食育推進計画に基づき食育関係事業の進捗状況の進行管理 食育推進会議の開催 食育講演会の開催								
<b>事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか</b>					<b>(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）</b>							
変 化 内 容	現在事業途中のため現状のまま継続して実施				<b>名称</b>		<b>単位</b>					
					① 食育推進会議		回					
					② 新規食育推進事業		事業					
<b>対象（この事業の対象、範囲となる人、物）</b>					<b>(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）</b>							
市民					<b>名称</b>		<b>単位</b>					
					① 人口		人					
					②							
<b>目的（この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか）</b>					<b>(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）</b>							
保育園、学校給食における地場産物の積極的な利用					<b>名称</b>		<b>単位</b>					
					① 学校給食等での地場産物利用割合		%					
					②							
<b>結果（上位基本事業の意図）</b>					<b>(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）</b>							
食を通して、健康な体、豊かな心、環境に優しい暮らしを築くため家庭、学校、地域などで食育を推進する。					<b>名称</b>		<b>単位</b>					
					① 食育の普及に関する事業活動数		事業					
					②							
<b>事務事業の各種指標の実績と見込及び目標</b>												
<b>指標 \ 年度</b>		<b>単位</b>	<b>H31年度実績値</b>	<b>R2年度計画値</b>	<b>R2年度実績値</b>	<b>R3年度計画値</b>	<b>R4年度目標値</b>	<b>R5年度目標値</b>	<b>R6年度目標値</b>			
(1)の活動指標		① 回	1	1	1	1	1	5	1			
		② 事業	0	1	0	1	1	1	1			
(2)の対象指標		① 人	61,040	61,570	61,236	62,100	62,360	62,620	62,880			
		②										
(3)の成果指標		① %	33	35	35	37	39	40	41			
		②										
(4)の結果の成果指標		① 事業	110	111	98	112	114	116	118			
		②										
<b>予算費目</b>		<b>会計</b>	01 一般会計				<b>款</b>	06	<b>項</b>	01	<b>目</b>	01
<b>コスト</b>		<b>年度</b>	<b>H31年度実績値</b>	<b>R2年度計画値</b>	<b>R2年度実績値</b>	<b>R3年度計画値</b>	<b>R4年度目標値</b>	<b>R5年度目標値</b>	<b>R6年度目標値</b>			
事業費（決算又は予算額）A		単位	1,071	829	332	831	826	3,455	826			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	1,071	829	332	831	826	3,455	826		
人件費B		千円	1,992	1,992	1,992	1,992	1,992	3,984	1,992			
正職員従事時間×人数		時間×人	200×3	200×3	200×3	200×3	200×3	400×3	200×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	3,063	2,821	2,324	2,823	2,818	7,439	2,818			
単位あたりコスト		千円/人	0.1	0	0	0	0	0.1	0			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名	No.	233	食育推進事業
-------	-----	-----	--------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	食育を通じて、食品の安全性や食品ロス削減等の基礎知識及び栄養バランスに配慮した食生活を実践する割合が増えている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	対象を見直すことは出来ない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	目的を見直すことは出来ない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	食育に関する取組を高めるために、食に関わる関係者が、互いが連携、協力して事業展開を進めることが必要。	
	目的達成状況	内容	食の大切さに対する認識を深め、日常生活の中で実践できる人が増えること。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 各関係団体と協働で食育を推進する。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	統廃合は出来ない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容	現状より、事業費・人件費の削減は出来ない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	直接的な受益者はなし

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	食の大切さに対する認識はあるが、日常生活の中で実践できている人が増えていない。	対応策	食の大切さを再認識し、市民が一人ひとりが食育を実践できるよう周知を行っていく。
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	食育推進会議を開催し、食育推進計画に基づく食育関係事業の進捗状況の進行管理を行った。食育講演会の実施。	変更・追加	変更・追加なし
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 食を通じて健康な体と豊かな心を育むため、食の大切さを再認識し、市民一人ひとりが食育を実践できる施策を講じる。		
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

# 令和 3年度（2年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和03年12月08日

1 事務事業 の 現 状  P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	247	さんさんの郷イベント実行委員会補助事業					
	この事務事業の位置		政策	魅力と活力があふれるまち						
			施策	地域の農業を守り、次代につなげよう						
			基本事業	地産地消						
	主管課名		産業課		課長名	光岡 公利				
	この事務事業の開始時期		平成14年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		さんさんの郷イベント実行委員会規約							
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	・ 緑と花のセンターを活用した市民間の活発な交流事業を通して、地産地消事業の推進を図ることを目的としたイベントを実施する。 その実施主体である実行委員会に対し、開催経費を補助する。				（現在の状況） ・ 令和元年度来場者数 約1,800人 ・ 令和元年度参加団体 34団体 ・ 令和2年度ふれあいフェスタ中止 （事業の必要性） 地場産物をPRし消費拡大を図るため、また、地域の市民同士の交流の場を提供するため必要である。					
	R2年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			5月にさんさんの郷イベント実行委員会総会を书面開催し、実施計画を承認していただいた。6月に実行委員会でふれあいフェスタ開催について協議し、中止となった。 9月、2月に野菜づくり講習会を開催した。打越、明知両保育園の園児たちとサツマイモの収穫体験を行った。						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	元々ふれあいフェスタは緑と花のセンター利用者と近隣の打越、明知の住民の交流の場として始めたふれあいフェスタだが、近年では子供向けのお祭りイベントとして定着している。			名称		単位				
				①	ふれあいフェスタ開催数	回				
			②	野菜づくり講習会開催数	回					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
市民 参加団体				名称		単位				
				①	人口	人				
			②	参加団体数	団体					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
より多くの市民に緑と花のセンターを知ってもらうとともに、地域間交流を図る。地場産品の提供を通して地産地消を推進する。				名称		単位				
				①	来場者数	人				
			②	愛知県産品出店数	団体					
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
緑と花のセンターへの理解を深める。地場産品の消費拡大を図る。				名称		単位				
				①	愛知県産品目数/全品目数	%				
			②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標 \ 年度	単位	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
(1)の 活動指標	① 回	1	1	0						
	② 回	3	3	2						
(2)の 対象指標	① 人	61,040	61,570	61,236						
	② 団体	34	34	0						
(3)の 成果指標	① 人	1,800	1,800	20						
	② 団体	16	17	0						
(4)の結果の 成果指標	① %	47	50	0						
	②									
予算費目	会計	01 一般会計			款	06	項	01	目	08
コスト	年度	H31年度 実績値	R2年度 計画値	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値		
事業費(決算又は予算額) A	単位	1,253	1,400	28	0	0	0	0		
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,253	1,400	28	0	0	0		
人件費B	千円	3,834.6	3,834.6	66.4	0	0	0	0		
正職員従事時間×人数	時間×人	385×3	385×3	10×2	0×0	0×0	0×0	0×0		
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0		
その他の費用C	千円	141	141	0	0	0	0	0		
トータルコストA+B+C	千円	5,228.6	5,375.6	94.4	0	0	0	0		
単位あたりコスト	① 千円/人	0.1	0.1	0	0	0	0	0		
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/団体	153.8	158.1	0	0	0	0	0		

様式1-2

事務事業名		No.	247		さんさんの郷イベント実行委員会補助事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> 得られていない	理由	野菜づくり教室は緑と花のセンターの周知という点では効果はあるが、ふれあいフェスタは打越・明知地域住民との交流という点では効果は薄れている。		
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	ふれあいフェスタの打越・明知地域住民との交流という限定を外し、市内子ども向けに見直すという考え方ができる。ただし、より規模大きい産業フェスタでも子供向けのアトラクションが多数ある。		
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	ふれあいフェスタは子供向けイベントという観点では好評を得ているため、事業目的自体を変更するという方法も考えられる。		
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	より地場産品を扱う出店者を増やす。			
		目的達成状況	内容	目標は満たしている。			
		市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 さんさんの郷イベント実行委員会補助金			
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	ふれあいフェスタについては、産業フェスタとの統合が考えられる。野菜づくり講習会や保育園児のサツマイモ栽培については地域住民の交流を通じた地産地消等の観点から継続したい。			
現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はいませんか？）		内容	現状でも会場設営以外ではそれほど経費はかかっていないため、規模の縮小が考えられる。				
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	入場料は難しいが、体験コーナーを定額の料金制とする可能性はある（1回50円程度）が、理解されるかはわからない。			
3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	イベントの活性化が必要。		対応策	イベントの見直しにより来場者数を確保する。	
	R3年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	ふれあいフェスタ開催、野菜作り講習会、保育園児サツマイモ栽培体験の実施。		変更追加	市制10周年記念の冠事業として開催する予定であったが、中止した。	
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 さんさんの郷イベント実行委員会補助事業のうち、ふれあいフェスタは産業フェスタみよし実行委員会補助事業と統合し、野菜づくり講習会等は緑と花のセンター管理事業と統合。 産業フェスタで軽トラ市を併設する。 ふれあいフェスタの体験コーナーは産業フェスタの子ども会まつりとコンセプトが近いいため、そちらで併設することが可能である。 野菜づくり講習会等は通年で行っているため、センター管理事業の事業として行う。			
コストの方向性			→ 維持				
成果の方向性			-				